

1. 活動のテーマ

<テーマ>

絵本

<テーマ設定理由>

○キッズタウンむかいはら保育園にはクラスの本棚の他に絵本コーナーが3ヶ所があり、特に2階の絵本コーナー（30㎡）には、子どもが自由に好きな絵本を選べる環境を作り『絵本』に力を入れている。

『絵本』を通して興味関心を広げたり、調べたいという探求心、物語からの表現力や情緒など感情について、文字や言葉の獲得など成長には欠かせないツールのため、子ども達の絵本好きをより深めたり、いつでも読みたい絵本コーナーの作製を行う。

○板橋区が『絵本のまちいたばし』として絵本に力を入れており、毎月図書館の読み聞かせや区からの各家庭に赤ちゃん絵本の配布など子ども達は絵本にふれる機会が多く保育園でも開設当初から絵本に力を入れ大切にしてきた。改めて子ども達、職員共に絵本について考える機会にする。

○昨年度から引き続き『絵本』をテーマに進めていく。

<内容>

○子ども達中心に新しくデザインした絵本コーナーにすることでより絵本を好きになったり、家具や絵本の変化によりわくわくな発見を高めたり、発見を次に生かし良いものに変化を続ける様々な検討を続けていくことで空間にどんどん良いものする。

○絵本について子ども達一人ひとりやみんなで色々なアプローチで考えたり、共有したり、表現したりしていく中で絵本について深く探求する機会をつくり絵本を通しての心身の成長につなげたり、絵本を読み解き表現や製作等に生かしていく。

2. 活動スケジュール

①あたらしい絵本コーナーどうやって使おうかな

今までの話し合いで子ども達から出た設置したい家具や物、空間などを絵本コーナーに設置し環境を整え、クラスごとや異年齢で絵本コーナーを使う中で子ども達の様子を観察する。

②だいすきなえほんをみんなに紹介

昨年から今まで以上に絵本について子ども達と考えたり、絵本に触れる機会が増えてきたので、子ども達からも「この絵本おもしろいよ」、「これみんなで読もう」などお互い絵本を紹介したり、自分の好きな絵本をみんなに伝える姿が見られていて、その気持ちを大切に、他のクラスや保護者にも伝えるように絵と文字で『ぼくのわたしのおすすめ絵本』として紹介できるコーナーを作成する。

③絵本コーナーを綺麗に使おう

靴を脱ぎ芝生コーナーを作ったが上履きの脱ぎ方や靴箱の入れ方が雑然としているのでその改善を子どもたちから提案、制作してもらう。

④絵本を作ってみよう・絵本についてみんなに話してみよう

絵を描くことも大好きな年長の子ども達 1 枚の紙にいろいろな物語を込めて描いているので絵を描く紙を冊子状にし、オリジナルの物語や絵本を作成し、全体へ読み聞かせや発表、披露する場面つくる。
合わせて好きな絵本をみんなに伝える発表の場も作っていく

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

昨年から絵本チームでも話あいを重ね、子どもたちとの会議やサークルタイムの内容を精査し、環境構成を行い、昨年は絵本コーナーを二つに分け、芝生を引いた靴を脱ぐスペースをつかったので今年はまず反対側の靴をはいたコーナーの検討を行い昨年の話し合い結果から複数の保育家具を選定し導入する。

4. 探究活動の実践

(活動内容)

① 新しい絵本コーナーどうやって使おうかな

今までの子ども達との会議や打ち合わせの中で置きたい家具などを絵本コーナーに設置し、環境を整え、クラスごとや異年齢で絵本コーナーを使う中で子ども達の様子を観察する。

(活動中の子どもの姿、声、子ども同士や保育士とのやり取り)

・昨年度より絵本コーナーをリニューアルしていく中で一番の変化は絵本コーナーで過ごす時間と絵本を読んでいる人数が多くなったことがまず挙げられる。今までより読みやすい空間、自分の中のお気に入り、読みやすい場所ができたことで過ごす時間が伸びていることが予想される。

・自分の好きなスペースで新しく増えた絵本を読んだり、友だちを「ここで読もう」「こっちきて」など誘い合って読む姿などが多くなった。

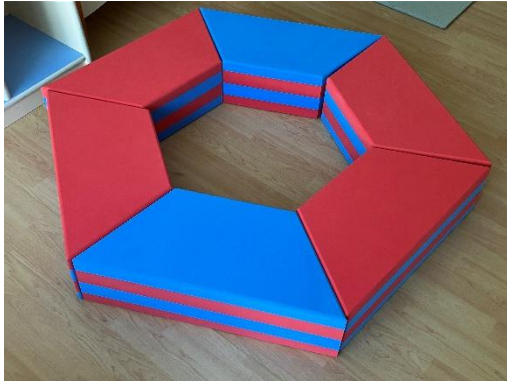
・子どもたちの中でも読みたい本に合わせて場所を変えていることが観察していく中で見られてきた。

・図鑑系の重い、大きい本は傾斜のついた机（今年度購入品A）で読むことが多くなり、これはこちらの意図して、設置した家具の効果が見られた。迷路やミッケなど絵本を広げてみる絵本も（A家具）で読むと予想していたが芝生コーナーで読まれることが多く読み方として正しいかは検討中だが絵本を中心に寝転がり読んでいる姿も多くあった。スツールや椅子と机の靴を脱がないで読むコーナーは、1人で落ち着いて読んだり、もしくは職員と読む子が座っている傾向があり、さまざまなコーナー、空間を作ったことで子どもたちの読みやすい、落ち着ける空間作りができた。

・台形スツール（今年度購入家具B）は片付けごとに子どもたちが置き方を変えるので様々な形で置くことがあり、「こことここくっ付けてしまおう」「こう並べると沢山座れるよ」「ドーナツみたいだ」等話をしながら片付けをしていた。それを見た子がまた違う形にして片付けるなど遊び心が見られ夕方の時間多く遊びにいる3歳児は「今日は細長くなってる」「これだとたくさん座れるね」「この形すごい」など変化に敏感に気が付いていた。

(写真)

☆家具 A



家具 B



☆絵本コーナーの様子



☆形への興味



(振り返り 気づき)

- 空間を作り込むことでこちらの予想通りな部分や予想とは違う思いもしない様子が見られたがどれも子どもたちが大好きな絵本を読みやすい、読み込むことができている集中することがわかった。
- 台形のツールは子どもたちも遊び心で片付けをすることに形を変化させていてそれをみた他のクラスも片づけ時に違う形に置く様子があり、絵本コーナーから文字や表現の獲得だけでなく形の変化への興味も広げることができた。